

どなたでも会員になれます！！ 川崎町町民及び名取川水系の釜房ダム流域の仙台市や名取市の住民。また、地域に関係なく会の趣旨に賛同し、一緒に活動したい方やこの法人を支援して下さる方が、現在会員として活動を楽しんでいます。あなたも一緒に楽しみませんか！！

会員の種類	正会員	この法人の趣旨に賛同する個人
	賛助会員	この法人の趣旨に賛同する団体
会費	正会員入会金	2,000円 (入会時のみ)
	正会員費	2,000円 (年間)
	賛助会員(一口)	10,000円 (年間) * 入会金は不要
振込み方法	銀行振り込み 七十七銀行 川崎支店 普通預金 口座番号 5126053 名義 特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会 理事長 菊地重雄	
	郵便振替 口座番号 02210-3-68929 名義 特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会	

このパンフレットに関するお問い合わせ、入会のお申し込みなどについては下記事務局に御連絡下さい。

食料とエネルギーの 100% 自給宣言

近年、私たちの身の回りにはモノが満ち溢れ、便利で快適な生活が営めるようになりました。反面、温暖化、大気汚染など地球規模での環境破壊や、やがて来る化石燃料の枯渇、深刻化する食糧危機という人類の生存を賭けた問題に私たちは今直面しています。

「川崎町の資源をいかす会」はこれまでに行ってきた講演会や研究会を通じて、便利で快適な生活をもたらした大量生産、大量消費には大きなマイナス面があること、そしてそのような社会システムそのもの行き詰まりつつあることを学びました。また、きれいな空気、最上流の豊富で美しい水、様々な生き物が棲む広大な森林と沢山の中小河川、緑をはぐくむ田畑、めりはりのある季節感、冬の寒さと、さらにそれらを活かしてきた人の心と技術という、この川崎の資源こそが、この行き詰まりつつある状況を打ち破る突破口になり得る事も学びました。

私たちは川崎町の豊かな資源・恵みをいかして、持続可能な環境に優しい生活を営み、また、共感する仲間をふやし、その理念に基づいた経済的に自立できる事業の創設・推進及びそれらの支援活動を行い、地域資源循環型社会の構築に寄与したいと思います。

大都会でなく小さな町だからできる試みなのです。川崎町民と一緒に今日の一歩を踏み出すことが、私たちの子供や孫に豊かさと幸せをもたらすことになります。

お金が全て便利なものが全て、便利さをもたらすものだけにお金を使うという価値観を

少し反省し、川崎町の自然と資源を活かし且つ守り感謝の気持ちを抱きつづけて

100年後に私たちの子孫が「食とエネルギーを100%自給」できて

楽しく豊かな暮らしが実現できるように

各々が得意の分野で最初の一歩を踏み出すことに致します。

特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会

**特定非営利活動法人
川崎町の資源をいかす会事務局**

〒989-1501 宮城県柴田郡川崎町大字前川字六方山3-225
TEL 0224-87-2270 FAX 兼用 事務担当 宮城
事務局メール office@kawasaki-shigen.jp
ホームページ http://kawasaki-shigen.jp/
発行人 特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会
理事長 菊地重雄

『100年ビジョンかわさき』釜房ダム水源地域ビジョン推進ネットワーク事業(100年ビジョンかわさき)

はみちのく公園で開催されるレイクフェスタの実施やビジョンニュースの発行をとおして、釜房ダム流域の上流と下流の交流を深めるため、各種体験事業を実施します。

川崎町の資源をいかす会の各グループは全て100年ビジョンかわさきのネットワークに参加しています。

100年ビジョンかわさき事務局 宮城加代子 電話 0224-87-2270



広葉樹萌芽更新

萌芽更新とは樹木の伐採後、残された根株の休眠芽を萌芽させその生育を期待して、森林の再生を図る方法です。40年以上の老木より30年以下の若木の方がより活発に萌芽します。また、伐採されたことにより周囲に落下していた種子から天然更新も進みます。

かなり老木化している里山の雑木材を伐倒して、萌芽更新し、水源かん養、水質浄化・土砂崩落防止の保全を目指します。

また、伐倒木を白炭・黒炭・薪・原木キノコのホダ木等に利用して、持続的な資源として活用します。

◆「雁戸白炭の会」グループ



炭焼き体験希望者募集中！！実施期間は4月～10月
詳細は下記(堀尾)又は事務局まで

白炭窯は平成18年11月に国道286号沿いのるぼぼかわさき入口向かいに築窯されました。広葉樹を利用して白炭を作っています。将来は竹炭や黒炭なども焼ける窯を作りたいと考えています。



担当理事：堀尾昌明
電話 022-243-1933

◆『原木きのこの会』グループ

スーパーなどでは手に入らない、美味しく栄養満点の原木きのこを楽しく作って、みんなで健康になる「きのこ栽培」を事業としておこないます。

担当理事：菊地重雄（前川字松葉森山1）
電話 0224-84-5854

秋から春にかけて、キノコの植菌体験やホダ木の希望も受け付けています。上記(菊地)又は事務局まで

その他の体験事業
写真は平成19年5月13日に実施した水源地探訪体験の様子です
象ヶ沢水源地の美しさに皆感動！！この水源地も大切な川崎町の資源です。



担当：100年ビジョンかわさき事務局 電話 87-2270

山・森の恵みをいかす

◆『川崎—仙台薪ストーブの会』グループ

川崎町の町有林を払い下げていただき、森の再生と薪の確保という目的で始めました。会員は現在約70名。皆で荒れた森の手入をしながら、薪ストーブに関する情報交換など楽しみながら活動をしています。また、作業を安全に行うための、チェーンソーの使い方や手入の仕方・刈払い機の扱い方の講習会も実施しています。搬出や薪割りはお子さんや女性も一緒に参加しています。



担当理事：菊地重雄（前川字松葉森山1）：
電話 0224-84-5854
お問合せ：事務局 0224-87-2270



子供も一緒に薪割りを楽しんでいます。

山・森の恵みをいかす

NPO法人川崎町の資源をいかす会

エネルギーをいかす

田・畑の恵みをいかす

川・湖・水の恵みをいかす

自然を楽しむ

川・湖・水の恵みをいかす

◆「ミニ水力研究」グループ

小さな水の力でもエネルギーになります。川崎町はそんなマイクロ水力に適した沢や小川など自然資源がいっぱいあります。私たちは空気や水を汚さないそんなエネルギーの利用を考えていきたいと思っています。



パツリで米を搗いている様子です。この建物の後ろに小川があってその水の力を利用しています。

担当理事：齋藤 勝廣（前川字裏丁97-8）
電話 0224-84-4796
担当理事：追木 今朝善（大字今宿字垣ノ内40番地4）
電話 0224-84-2661

◆『貸付森林』活動グループ



講習会では木の倒し方やチェーンソーの使い方・手入れの仕方を勉強

***今年も貸付森林の希望者を募集しています。自分の山の木を切って、キノコを植菌してみたいかですか！！**

担当理事：加藤 渉（川崎町森林組合）
電話 0224-84-4422

田・畑の恵みをいかす・自然を楽しむ・エネルギーをいかす

◆『安全な農作物づくり』グループ

木炭・木酢液の効果を確かめるために、平成13年11月からグループ全員で比較試験を実施しています。平成14年度からはそれぞれの圃場で栽培をはじめました。「安全でおいしい食べ物」の消費を拡大しながら、農産物とその加工品の直売所の拡大を目指します。そして、試食会や講演会なども開催しつつ、技術の習得や仲間づくりを進めます。

担当理事：真壁治平（支倉字堀の内80）
電話 0224-86-2061



◆「自然を楽しむ」グループ

川崎町の季節の素材をいかした「四季を喰う会」を5月・7月・10月・1月又は2月に実施しています。
担当理事：立岡 学
お問合せ：事務局

◆「ゴミもいやす」グループ

循環型社会のキーワードであるの四つのR、ゴミや汚染物質を減らし、資源を保護し、エネルギーを節約し、森林を守る活動を実践します。そして、川崎町をゴミの少ない町、ゴミを大切に作る町にするためのビジョンの策定を働きかけていきます

●菜の花プロジェクト年間予定（天候によっては変更になります）

5月から6月 開花見学会を実施
7月上旬から中旬 刈り取り
8月 種おろし選別
9月 搾油
10月 種まき・搾油した油の試食会
担当理事：沼田 良子（本砂金字坂下43-1）
電話 0224-84-4590

参加者募集中！！
詳細は事務局へ

ゴミをださない ゴミを減らす 繰り返し使う 再資源化
リフューズ リデュース リユース リサイクル